

こども部会

【テーマ】

障害のある子どもとその家族が笑顔で暮らせる地域づくりを目的として、関係者のネットワークの構築を図り、情報を共有しながら課題検討を行う。

部会長	きやらめる🐾びいと
副部会長	けいあいフレンズ
	ひふみ千曲桜堂教室
	千曲市福祉課
	坂城町福祉健康課
事務局	千曲・坂城基幹相談支援センター

1. 年間目標

- ・関係機関で情報共有を行い、課題や検討事項について協議する。
- ・ライフステージを意識した切れ目のない支援をめざすため、包括的支援体制をめざす。

2. 活動状況

【こども部会】

日時	会場	人数	主な内容
5月15日	ふれあい福祉センター	35	・令和6年度の部会の方向性について ・放課後等デイサービス事業所連絡会（事業所説明会）について
7月10日	ふれあい福祉センター	34	・にじいろキッズらいふ 丸山 志野氏講演 「インクルーシブな社会を目指すためにできること」 ・グループワーク
11月13日	ふれあい福祉センター	33	・グループワーク 「切れ目ない支援をするために～今我々ができること～」
1月22日	ふれあい福祉センター	27	・福祉計画の目標達成に向け部会で今後検討したいことについて ・放課後等デイサービス事業所説明会の今後について ・令和7年度部会長、副部会長について ・令和6年度活動報告（案）/令和7年度活動計画（案）について ・今年度の振り返りと来年度に向けて

2024年度（令和6年度）活動報告

【医ケア児等支援委員会】

6月6日	ふれあい福祉センター	19	・実数調査にむけて趣旨説明 ・ライフステージに応じた相談先や伴走者についてグループワーク
6~7月			医療的ケア児の実数調査アンケート実施
12月11日	ふれあい福祉センター	19	・実数把握調査の報告 ・来年度より医療的ケアが必要なお子さんを地域校で受け入れについて報告（教育委員会） ・ご家族と初めての面談の時に使える相談先や手続等が一覧になっているチェックリストを作成に向けてグループワーク

【放デイ事業所連絡会】

日時	会場	人数	主な内容
6月25日	ふれあい福祉センター	15	合同説明会に向けて打ち合わせ①
7月18日	ふれあい福祉センター	15	合同説明会に向けて打ち合わせ②
10月23日	恵愛陽だまりホール	23	事業所合同説明会
1月10日	恵愛陽だまりホール	19	調整会・反省会

3. 総括

○検討した課題等 こども部会本会

- 講演会「インクルーシブな社会を目指すためにできること」にじいろキッズらいふ、丸山志野氏法改正に伴い、地域移行等のインクルーシブ推進が求められるようになったことをきっかけにインクルーシブについての学びを深めるために開催し、地域移行をしていくために、それぞれの立場で何をできるのかを改めて考えるきっかけとなった。
- グループワーク「切れ目ない支援をするために～今、我々ができること～」
”今”の支援だけでなく、幼少期から学齢期、学齢期から青年期の移り変わりの中で、切れ目のない支援を行っていくためには立場別のグループに分かれて話し合いを行った。
→講演会、グループワークともに、本人に関わる関係機関同士の”連携”が重要との話があがった。

○検討した課題等 医療的ケア児等委員会

○医療的ケア児実数把握調査

医療的ケア児の支援の充足等を把握していくための実数把握調査を実施。

調査結果は市町、医療的コーディネーターで管理し、当委員会でも人数変動を確認してゆき、地域支援の充足や地域資源開発に役立てていく予定。

○医療的ケア児の保護者が使用できる「子育て支援ガイドブック」の医療的ケア児バージョンが作れないか検討を開始した。

○検討した課題等 放デイ事業所連絡会

・新年度の利用希望者に向けて、事業所の特色を知っていただくための事業所説明会を10月に開催した。ワーキンググループとして放デイ事業所連絡会として実行委員を中心に活動をした。

・事業所説明会の方法や、その後の流れについても参加した方々からご意見をいただき、今後よりわかりやすく、必要な方へ支援が行き届く方法を検討していきたい。

4. 次年度に向けて

○障害児福祉計画について

- ・インクルーシブの推進について児童発達支援センターと連携して進めていく。
- ・重症心身障がい児の支援について関係事業所と協議を継続していく。
- ・医療的ケア児等委員と連携して医ケア児の支援を推進する。

○地域課題等の検討/課題解決について

・自分達ができることとして、縦横の関係機関同士の繋がりを強化するために制度や役割の理解をし、連携を深めていく。

○医ケア児の支援について

- ・医療的ケア児等委員会と連動しながら、医療的ケア児等に関わる方の課題を整理し、協議していく。

○放課後等デイサービス連絡会

- ・昨年に引き続き、事業所同士の連携を深め、より良い放課後等デイサービスの利用や支援について検討し実施していく。

○研修会(勉強会)について

- ・福祉関係者等のスキルアップのため、地域課題やニーズに対応した研修会を開催や情報共有を行う。他部会にまたがる課題に関しては他部会と連携して勉強会や研修会の開催を行えるようにする。